



# ロクハの自然

**感染症予防対策で安心・安全な公園利用を**

**春をとおり越した！！**

3月の気温としての最高気温を打ち出した地域が多く、いっきに4月下旬ゴールデンウィークの季節へ飛んでしまいました。花たちは季節に追いつこうと必死です。



### 一番桜の一週間

みるみる変わっていきました。このところの20度前後の気温と、久しぶりの湿り気で、「はなさかしいさん」のお話のようでした



### スポーツ広場の梅の花 3/15



スポーツ広場には大きな梅の木があり今満開です。サクラを追いかける時期なので見間違えてしまいます。よく見ると枝ぶりや花の着き方にサクラとの違いがありますが何で見分けられますか？品種により例外もありますが、サクラの花びらには切れ目が入ります。サクラは正五角形の花びら並び、梅は三と二の二種の花びら。梅の花は枝についているようで、サクラの花は柄があり離れているようです。



### 3/15 いろいろ出会いました

**カナヘビ?**  
葉っぱがこそこそと動くのでじっと見ていたら顔を出しました。とても小さく、冬眠が大変だと思えます。

**エサキモンキツノカメムシ**  
背中ハート形の紋が、圧倒的な存在感です。少し弱っているのでしょうか、翅がもう少し閉じるの通常です

**ルリタテハ**  
毎年この場所で、春一番に出会います。この場所ではとても目立ちますが、樹間に入り込みると消えてしまいます

**ルリビタキ♀**  
最近見かけなくなりもう帰ったのかと思ってきました。ジョウビタキもよく見かけるので、もう少しいてほしいと思います。



# ロクハの自然

**感染症予防対策で安心・安全な公園利用を**

## 啓蟄をすぎ、寒のもどり

三寒四温はこの時期の気象用語、3日寒くて4日暖かい、1週間の差し引きが+暖かさです。そういえば2週連続で観察会を行いましたか寒暖周期に乗ったみたいで、両日とも天気を心配しました



2/15



2/28



3/8

## 気になる一番桜の開花

2/15にいよいよかなと記録を撮り始めたロクハの一番桜ですが、その後進みが遅くなりました。今週末気温がぐっと上がって20度近くになるとか、それで一機に咲くかもしれません。桜の開花は積算温度が一番大きな要素みたいで、これからの気温次第で大きく変わるようです。ちなみに2021/2/24、2020/2/20、2019/3/5、2018/3/9、2017/3/19という記録です。1か月も違いがあるんだなとびっくりします。ソメイヨシノはこれより後です。

ロクハ公園ホームページに「桜などウォッチング2022」をアップしました。ロクハ公園に限定したサクラマップです。ご活用ください



3/8



## やっと出会えたキタキチョウ

今期のチョウ目撃が2件ありますが、2度とも撮影する機会を逸して少し後悔していました。この日は、天気予報を確認し出えるはずだと信じて出かけました。ところが日差しはあるのですが、いまいち気温が上がりません。アブ・ハエは出会うのですがチョウに出会えません。まもなく12時、やっと登場、上3枚はこのチャンスを逃してなるものかと遠くのチョウを連射、すぐに止まってくれたので左のように接近して撮れました。ここから1時間粘りましたが、現れたのはこの一匹でした。一匹でしたが、大変満足して帰宅しました。大漁です。

## 道端の小さな花をつけた野草 3/8



キュウリグサ

とっても小さく、花は夏場まで見られます。葉っぱをもむとキュウリの臭いがすることからこの名ですが、何回もやっていますが何となくです。



フラサバソウ

イヌノフグリみたいな花ですが小さくよく見ないと、見落としてしまいます。興味ある名前は、植物学者のフランシエとサバティエの名からだそうです



コハコベ

春の七草にあたるハコベラですが、コハコベとこのはなじみが薄いです。ハコベと呼んでいたものがコハコベとミドリハコベだということになったと



# ロクハの自然

**感染症予防対策で安心・安全な公園利用を**

## 春をさがそう

春にもいろんな時期があり、お正月から初春や新春などといえます。気象庁での長く行われていた動物と気象の観測はなくなりましたが、生き物に季節の到来を感ずことはまだまだ重宝するものです。2月28日・暖かい日の記録です。



啓蟄は3月5日ですが虫がすでに動いています。2/27の野鳥観察会時に曇天でしたがチョウが飛んでいました



写真上 フタホシヒラタアブ ヒラタアブの仲間もたくさんいるようです。ホバーリングする動きは撮影しやすいです。  
写真下 オオハナアブ すんぐりして腹部にオレンジ色の帯が特徴、この写真でも少しわかりますが複眼に模様が見られます。不思議な模様です。どちらもオオイヌノフグリでの吸蜜です



### ツクシ（土筆）

多くの植物は毎年同じ場所で見られます。少しずつの環境変化を受入れながらです。ツクシのシーズンの初見はうれしくなります。このぐらいのサイズの出会いがいいですね。これより伸びていると忘れていたという気持ちになります。平均的な時期に出てないと掘ってみたいくなります。掘りませんが。

### ホトケノザ

葉っぱが仏さまが座っている台座のようなのでこの名前ががついています。春の七草のホトケノザとは別種でこちらは食用になりません。ヒメオドリコソウの花とそっくり



### 比良の残雪

菜の花の満開の向こうに残雪の比良が見えるのですが、私の写真撮影技術では写せませんでした。白くぼんやり今期は雪が多く今の時期比較的たくさん残っています。頂上ではスキーが楽しめます。いいお天気の日には湖北の白く覆われた伊吹山も見えます。ロクハ公園からそんなことを考えながら湖国を見渡しました。プールの屋上なら大パノラマなんでしょうね。左の写真は思いっきりズームで比良山頂を撮ってみました。暖かさで揺らいで見えました



川原池の水鳥たち、陽光の中まどろんでいるようです。同じ色を真冬でも見ているのですが暖かさが伝わってきます。



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

**感染症予防対策で安心・安全な公園利用を**

## 冬の野鳥観察

野鳥は1年じゅういるわけですが、冬時期は渡り鳥がやってくるので種類が豊富になります。木々の葉っぱの量も少なく観察しやすい時期です。2/27はウォッチング2。今回は今見られる鳥を並べてみました。



他に、アオシ、シジウカラ、ヤマガラ、エナガに出会いました。シメやイカル、セグロセキレイここにはあげなかった水鳥も確実に出会えると思います。ただし、生き物のこと実際に歩いてみないとわかりません。





# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの巡鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を



### 2/15 梅の花さかり

ロクハ公園のウメは、花の盛りを迎えました。  
 「梅に鶯ホーホケキョ」という言葉があります。  
 ウグイスがこの季節になるとホーホケキョと鳴き始めます。  
 どちらも春を待ち焦がれる気持ちの表れのようなもの二つ  
 並べててんこ盛りの春を告げるものだと思いますが、この  
 言葉のような光景が見られるのはかなり難しいようです。  
 ウグイスは茂みの中で虫を取ることが多く、花の蜜を吸い  
 に来ることはまずありません。花札の梅に鶯は、どうやら  
 メジロのようです。俗に言われるウグイス色は実際のウグ  
 イスにはなくメジロそのものです。人の春への憧れが作り  
 出したイメージ見たいです。  
 ウメに来るメジロの写真はよく撮られます。  
 「ウメジロウ」と呼ぶようです。



**カワセミの糞**  
 お気に入りの停まる場所があり、そこにいる  
 時間を象徴しているのが上の写真。葉っぱが  
 真っ白になっています。とまっている場所か  
 ら斜め後ろに勢よく出します



**監視者ショウビタキみP**  
 南ゲートから入って観察  
 し始めると必ず(ほぼ)  
 出会います。明らかにむ  
 こうからやってくるので  
 す。この個体は、左目の  
 縁に白い点があるとい  
 う特徴があり、どの写  
 真も同じ個体で、時々  
 監視されているような  
 気がします。



### クログネモチの赤い実とヒヨドリ

クログネモチは秋に赤い実をびっしりつけます。  
 つい最近までそのまま、放置されてきました。2年前この  
 実にしんじやくの群れが集まり、すっぺりとたிரらげてい  
 ったのです。今期は実がいっぱいあったので再来を期待して  
 いたのですがヒヨドリが先に食べに来ました。  
 ヒヨドリはここにクログネモチの実があるのを知っていま  
 したが、食べませんでした。この真意は聞いてみたいとわ  
 かりませんが、味の順位がありおいしいのから食べていき最  
 後に、ここにたどり着くというのが一般的な見方です。



### ロクハ公園で一番に咲くサクラの花芽

今年は寒いのだと痛感します。昨年記録によれば花芽がもっと膨らんでいました。  
 サクラの開花は単純に気温だけで決まりませんがふくらみ始めると気温が大きく作用  
 します。そろそろ気になる季節が近づいています。

facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で 公園のアカウントが調整が済むまでfacebook  
 「ロクハ 見守り」を使って発信しています。  
 記事を更新できていません。  
<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの巡鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を

### 2/8の景色・春の気配をさがす

土の季節もその季節の味があり、春を待つ気持ちはなお一層嬉しいものです。春を待つ歌もたくさんあります。冬の自然は厳しく、多くの生きものの活動が小さくなっていて春を焦がれています



2/8

#### メタセコイアの並木

そんなに大した変化はないのですが、この日撮った写真は春めいているように思います。この写真から、撮影時間や季節を見つけることができるのでしょうか。色々推理してみました。時間は影の長さから、写真の色合いはあまりあてになりませんが、春の雰囲気があります。何から・・・一年並べるとわかるかも



2/4

♪菜の花畠に入日薄れ・・・♪の詩の季節はもう少し先です。私の小さなころは、油採取用の菜種が多く植えられていて、収穫期になると、アプラナの実が大量に袋に入っていたのをおぼえています。乾燥した菜種殻は火の着き方が早く、お風呂を沸かすことや、調理燃料としても重宝しました。最近のものは、早咲きに品種改良されたものが多く、冬のつなぎのイメージです。守山市の湖岸で比良の雪景をバックに咲き誇っているのがよく紹介されます。この日はちょうど立春。



2/8

#### ひしめき合う野草

まだまだ霜が降りる季節ですから野草は静かにしていますが日当たりのいい垣根の下をのぞいてみると、たくさんひしめき合っています。すでに春の環境が出来上がっているようです。カラスノエンドウやホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ハコベラなど、よーいドンの合図を待っているようです。先に伸びたものがこの空間を制します。遅めに走り先にゴールした人がいなくなってしまうものもいます。



2/7

#### オオイヌノフグリ

早春の代表選手オオイヌノフグリ、日ア監のいい場所では咲き始めていました。咲いているのは日の光が届くときだけ、咲き誇るのはまだまだ先のことですが、この花を見ると春だ春だと浮かれます。



2021/05/10



#### 2/8 ルリビタキ♂

ロクハ公園の冬の野鳥観察でどうしても見ておきたいのがルリビタキのオス、その青さはとてもきれいです。オオトリという青い鳥がいますがそちらは色が濃く紺色に感じます。何回かチャンスはあったのですが瞬時に動き撮影できませんでした。この日は隙間から見る事ができました。ただ陽の光が強くてきれいな青が写せませんでした。滞在していることはわかっていたので次のチャンスを待ちます。



2/7



2021/12/14

#### ミニビオトープに野鳥たちが

メダカの飼育池として置いていた水槽ですが、水を長く回すことで浄化をねらった配置をしました、水刃のおと〜ぶです。深い仮城のエリアは、野鳥の飛来を願って設置しました。昨年の12月、ジョウビタキがやって来て、水を飲み行水をやっていたのに感動しました。この日はジョウウカラとツグミが連続してやってきました。ずっと観察したらもっとちがう種にも出会えるかもしれません。ワクワク



#### 新しい看板

おおこれは北濱！浮世絵に挑戦だ、でどうしてとよく見ると草津を題材にした浮世絵もしっかり入っていました。拍手。前回の軽トラ、夜の観察会でヘッドライトが点灯しているのを確認しました。いきだな。



facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で

記事を更新できていません。

公園のアカウントが調整が済むまでfacebook「ロクハ 見守り」を使って発信しています。



<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を

**2/1の景色・春間近** まもなく立春、県北部は典型的な冬型の天気雪が多く毎日ちらつくようです。南部の草津市では逆に雨がなく、川原池が干上がってしまいました。



**6羽のミコアイサ**  
換羽期のオスは、巫女のような白い装束になることからついた名前、白黒で目のまわり黒いことからパンダガモの愛称

2/1

1/31

滋賀県野鳥の会では、琵琶湖に飛来するガンカモ等生息調査をされています。2021年にされた調査の中でミコアイサ600羽ぐらい。ロクハ池に一度に6羽も観察したのは珍しいし、ミコアイサが飛来する池としてロクハ池があるのは誇らしいです。水に潜り小魚を捕まえます。昨年は事務所前の川原池に数日訪れたことがあります。近くの街中のため池にも訪れています。魚が取れるところを目指みたいです。ロクハ池は水鳥たちの寝床にもなり狩場でもあるようです。ひとけを察するとツーッと離れていきます。もう少し近くで観察したいです。



**1/29 ルリビタキ♀** 今の時期はヒタキ類がすごく見られます。見られ始めたころはすぐに隠れましたが、最近は観察する私達にも縄張りを宣言しているようです。その分撮影しやすく、色々な表情を見せます。毛が逆立っているのは威嚇でしょうか。



**1/28 トラグミ**

1/18に確認してから何人もの人が観察されています。いるのだけれど、たびたび見られないのは慎重派なのでしょう。何かとんだと入った樹木を見ても見つけられません。この時は、一緒におられた方に見つけてもらいました。1/29に夜の観察会を行いました。「轆」の声を聞けるかと期待しましたがだめでした。やっぱり明け方かな。



**1/31**  
**ヘクソカズラと野鳥**

ヘクソカズラは人にとっては名前の通りいやなもの、水気がある実は嫌な臭いがします。草は冬になり立ち枯れし、実も乾燥します。その実を食べに来ます。実はそれなりにしっかりついているので、揺られるときこそごとと揺れます。けっこう人気の実です。



**1/31**  
**シジウカラと虫**

シジウカラが何かを見つけて獲りました。虫の蛹か幼虫です。上手に見つめます。知人のSNSで同じ虫を持っているのを見ました。虫取り名人。

facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で記事を更新できていません。



公園のアカウントが調整が済むまでfacebook「ロクハ 見守り」を使って発信しています。

<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を

### 1/25の景色・いいお天気

少し寒さが緩みました。気象記録的には大寒から節分の時期の平均気温が一番下がるようです。週末はまた冷え込むような予報です



中央花壇に立つツイヌのおまわりさんは看板をもって来園者を迎えます。第1・2駐車場からイチョウのブロムナードを歩いてくると正面に見えます。この看板、時々変わります。時にはさわる看板もあり楽しみです。来園の際は意識してみてください。

日ざしが暖かく思えました。川原池の周辺の並木も少し春めいたか(希望)。その向こうに見えるのは、草津駅前の高層マンション。そしてそのはるか向こうに写るのは比良の山並み。ロクハ公園は市内の南東の丘陵地にあります。カメラの精度によっては山頂の施設がみえるときがあります。今期はしっかりと積雪が見えます。



### 1/25 三羽のカイツブリ

琵琶湖は淡水・淡海の海・水海・近江の海・細波・鳩の海などの呼び名があります。その中の鳩の海は、カイツブリが多いと付いた名です。時代が進むうち、飛来する鳥たちの様子も変わりつつあります。

2021年の野鳥の会の、ガンカモ生息調査報告ではカイツブリの仲間は5%、その中でカイツブリは1割もないという状態だそうです。貴重な個体数ですが、この日は3羽もいました。三羽での安心感が湖畔でよく聞かれる声を聞きました。



**ベニマシコ♂**  
1/2に確認したベニマシコ、名前の由来となる赤い顔、おサル顔のみ出会えました。



### 1/21 セイヨウヒラギンテンとメジロ

セイヨウヒラギンテンはこの時期に花をつけ、その状態が長く続きます。この花に夢中なのがメジロ、ほかの場所にもあるのですが、平和の鐘がある、人通りの多いこの場所でも気にせず吸蜜です。手で触れそうです。先日の雪の日でもみられました。



**ベニマシコ♀**

## 注目



facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で記事を更新できていません。

公園のアカウントが調整が済むまでfacebook「ロクハ 見守り」を使って発信しています。

<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を

**1/16の景色・凍てついた朝** 朝日が当たり始めて、多目的広場全体が白く輝きます。霜がすごくて手が痛く感じる寒さです。写真ではトーンダウンしますが、朝の散歩者は、こんな景色をご覧になっているんだと思います。



1/16AM8:30



川原池の日が当たりにくいあたりが凍っていました。ここはアヒルたちの食事場も凍ると氷上を歩かなければなりません。野生のカモは上手に歩いていきますが、アヒルは少し大変になります。もう一つはスイレン池の氷、薄いですが全面が凍り付いていました。カワセミの重要な狩場、凍ってしまうとこまります。

葉っぱの上につく霜ですが植物の種類によってその形が違います。周りの状況も大きく影響するでしょう。水分が付きにくい組織、地表からの高さも関係するでしょう。ムラサキのはピオラ、今の時期は地表へはばりついているような、結晶が長いです。赤いのはオタフクナンテン、葉脈に沿うみたいです。

1/18 シロハラ



1/14 イカル



1/18 ツグミ



1/18 トラツグミ



1/14 キジバト



### 地上に降りる鳥たち

この一週間で、地上に降りている鳥たちの姿が一気に増えました。樹上にあった食料、木の実がなくなってきた、また、虫たちがいなくなったと言えます。飛ぶ鳥としては地面におりるリスクを持つての行動です。猫を警戒するエリアもあります。

- 1/18 シロハラ 狙いの多くは葉っぱの下に潜む虫たち。秘技・葉っぱ返し
- 1/14 イカル エノキの樹上の実がなくなった、仕方なく落ちていた木の実を
- 1/18 ツグミ 多目的広場のミズをねらうじっと構え動く気配を探る
- 1/18 トラツグミ 地上の虫たちをねらう、トラダンスは必見
- 1/14 キジバト この5種の中では一番大きい、小さな種をついばむ

## 注目

facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で記事を更新できていません。



公園のアカウントが調整が済むまでfacebook「ロクハ 見守り」を使って発信しています。

<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>



# ロクハの自然

facebook「ロクハ自然」 [www.facebook.com/rokuhapark](http://www.facebook.com/rokuhapark) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 感染症予防対策で安心・安全な公園利用を

### 1/12の景色

今期は毎週のように寒波が寄せてきます。この日は一日中雪がちらついていました。雪が降ると大変だけど年に一度は雪景色の公園を見たいです



写真には写りこまないなと程度の雪です。日本海側は冬の間こんな空が多いんだと思いました。さすがに人が少ないです。

### モミジバフウ



モミジバフウの実 たくさん落ちています。形から「まっくろくろすけ」みたいな実とよく呼ばれます。たくさん落ちているのですが今期は少ない感じがします。樹上にはまだまだ実がぶら下がっています。実が小さいので落ちにくいのかも知れません。カワラヒワは連日実をつついてその中の種を食べます。キジバトは実から落ちた種をひろって食べます。



### 飛ぶ宝石・カワセミ

ロクハ公園の看板スターです。今はジャブジャブ小川の水がないので、川原池と睡蓮の池で見かけることができます。ほぼいるのですが瞬時に移動して場所を代えるので意識してみないと、気づかないです。見え始めると特徴的な色合いが浮かびだします。遠くにいて詳しく見えなくても、あそこにいるなとわかります。公園内は人通りが多いので人の近づく気配を感じるすぐに移動してしまいます。じっと待っていると人の動きで飛び立つので見つけやすいです。水面近くを滑空するのが見られます。杭やフェンスの上などは丸見えますが、狩場です。魚などの獲物を撮った後、すぐに食べやすくなるまでたたきつけます。しっかりとたたきつける場所は彼らたちのお気に入りです。

### 注目

facebookの「ロクハ自然」アカウントの調整で記事を更新できていません。



公園のアカウントが調整が済むまでfacebook「ロクハ 見守り」を使って発信しています。

<https://www.facebook.com/rokuhafamily/>